

平成24年12月22日(土)

室蘭民報 掲載

陛下からの「御下賜金」

幸清会に伝達

福祉への貢献、施設の健全な維持管理、社会福祉事業への熱意ある取り組みなどが評価された。

胆振総合振興局の山田博人局長から、伝達を受けた大久保和幸常務理事は「今年で39年を迎えるが、今後も一層の努力と研さんを重ねたい」と話した。

幸清会は昭和48年3月に設立。「穏やかで、楽しい尊厳ある生活を保障する」「その人らしい当たり前の生活を保障する」を理念に、

特別養護老人ホームや養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウスなどを運営。高齢者の

1施設・団体に贈られる。今年是全国で67施設・団体が選ばれた。幸清会は昭和63年以来の贈呈を受けた。

(松岡秀宜)



御下賜金伝達式で、伝達書を受け取る幸清会の
大久保和幸常務理事（左）

天皇陛下から社会福祉事業を行う優良な施設や団体に贈られる「御下賜金」に関して、社会福祉法人・幸清会 鞆町の特別養護老人ホ

（本部洞爺湖町、大久保幸積理事長）に

対する伝達式が20日、同法

人が運営する室蘭市絵

巻町の特別養護老人ホ